

勝連 庁舎の跡利用案

日時：平成25年8月28日(水) 19:00～
 場所：勝連シビックセンター 2階研修室
 参加人数：13名(事前見学会参加0名)

緑 チーム

現状分析と課題の抽出

- 高台にあることから津波避難場所となる
- ホールや図書館との一体的な利用も可能
- 中庭も利用できる
- 高台にあり、眺望がよい⇒観光産業と連携
- 海に近く、マリンスポーツ・レジャーに適する
- 勝連地区、勝連半島の中心に立地
- 肝高の阿麻和利ホールとの連携が可能

強み

- 世界遺産勝連城跡というネームバリュー
- 教育施設や体育施設、文化施設が近接
- うるま市としての歴史文化の拠点が未確立
- 周辺に歴史的資源がある
- 阿麻和利の歴史文化⇒子どもたちへの教育
- エイサーの発祥地である

チャンスとなる要因

弱み

- 旧耐震基準の建物である
- 規模が大きくない
- バリアフリーへの対応が不十分
⇒防災施設として不向き
- うるま市内にビジネスホテルがない

障害や困難となる要因

- メイン道路から奥まったところにあるためアクセスしにくい(観光には向いていない)

求められていること

《地域意見交換会及び地区意見交換会》

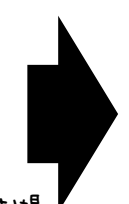
- 文化を発信する施設(博物館など)
- 観光、歴史、文化の拠点
- 与那城庁舎との統合
- 葬祭場
- 民間企業の誘致
- 保育機能

《庁舎の跡利用に関する市民アンケート》

- 地元の雇用を生む場や市民の暮らしを便利にする場、文化を育む場
- 飲食店や生活用品を購入できる商業、保育所・児童館、市民サービス機能といった市民向け施設を期待している また、観光施設も期待している

《職員アンケート》

- 子ども関連施設や防災関連施設、公園や広場、市営住宅が不足していると感じており、防災機能や市民サービス機能、子ども関連施設への期待が高い



跡利用の方向性(コンセプト)と跡利用計画案(ゾーニング)

◆うるまの歴史文化の拠点 ～学習機能や地域活動の場としての機能を併設～

庁舎周辺

- ・ 高齢者が利用しやすい交流施設を幼稚園の跡地につくる



- ・ 勝連城跡近くに資料館をつくる
- ・ 歴史文化のルートと一緒につくる



- ・ 行政サービスを公民館で行う



地域活動の場

- ・ 風土あふれる文化を盛り上げる
- ・ 中庭でエイサー



- ・ 阿麻和利の公演⇒歴史文化拠点
- ・ 金多可ホールで阿麻和利の常時公演



人々が集う場

- ・ 眺望を活かしたレストラン・カフェ



- ・ 子どもたちが集える場所



歴史文化の拠点

学習機能

- ・ 映像室
- ・ PC室



- ・ 子育て
- ・ 歴史文化教育



文化を育てる機能

- ・ 合宿施設



- ・ 更衣室



- ・ 音楽系のけいこ場
三線などのエイサーの裏方の練習

- ・ カルチャーセンター

